

# 天明まちづくりセンターだより

発行/熊本市南区天明まちづくりセンター 〒861-4125 熊本市南区奥古閑町 2035 TEL223-1117 FAX223-3275

## 銭塘校区 東塘クリーン大作戦

1月26日、東塘クリーン大作戦がありました。これは、「熊本城マラソン」の開催に合わせて、毎年銭塘校区で実施される一斉清掃活動で、ランナーの皆さんが気持ちよく走っていただけるように、マラソンコース沿いの除草やごみの回収作業をされています。今年も各町内から多くの皆さんが参加され、多量の不法投棄ごみを回収後、手分けして分別されたり、伸び切った雑草を草刈機で刈り取られていました。銭塘校区の皆さんのおかげで東塘一帯は見違えるほどきれいになっていました。



## 天明の歴史シリーズ 12 千間塘の榿の木

第12弾「千間塘の榿の木」の紹介者は白河部健さんです。

### 1 赤穂浪士と肥後の榿の木

元禄15年(1702)12月 赤穂浪士47名が、主君浅野内匠頭の仇を討ち、大石内蔵助以下17名は細川藩に預けられた。細川藩は赤穂浪士をたいそう厚くもてなした。大石内蔵助は深く感激し、薩摩藩で盛んに行われていた榿の栽培と精ろう法を教えたといわれている。



榿蠟は、ローソクや髪付け(整髪油)の原料となるもので、財政再建のために推進する藩が多かった。当時、財政に困窮していた細川藩も、薩摩藩から苗木を取り寄せ、御船川の日向街道に榿を栽培した。そして榿栽培が藩各地に広がった。

嘉永7年(1854)銭塘手永の榿仕立場所絵図帳(永青文庫蔵)によると、榿の木合計2,499本、仕立間数合計8,987間(約16km余)となっている。

### 2 請榿の制度

文化3年(1806)飽田、詫麻の両郡に榿の請負制度が実施された。銭塘手永の請負高は、榿の実12,518斤余という記録が残っている。榿の成実は7割は藩召し上げ、3割は村拝領だったようだ。

### 3 採蠟司開

6代藩主重賢(しげかた)の時榿蠟の専売方法が推進され、寛延2年(1749)榿方会所が城内に設けられた。その後文政9年(1826)榿方が、運営資金を得るために11町の新地を築造した。それが採蠟司である。

### 4 榿の木を大切に

現在、採蠟司東側の千間塘に、榿の木が残っている。しかし、長年放置され、くずなどが巻き付き葉を茂らすことができなくなっていた。

それで、下内田よくし隊が中心となり、3年前から葛(くず)、木蔦(きづた)はずしに取り組んできた。おかげで、平成30年の秋には、きれいな紅葉を見ることができた。この由緒ある、そして貴重な榿の木を、天明の宝として大切に残していきたいものである。



## 熊本市消防団 意見発表会

1月27日、消防局広域防災センターにて熊本市消防団の意見発表会がありました。熊本市内消防団から16人の団員が出席し、天明からは第10方面隊66分団銭塘校区の河部佑紀さんが「地域と共に」と題し、意見発表をされました。河部さんは、日頃から消防団員として、地域行事や清掃など地域活動にも積極的に参加している様子を堂々と発表し、見事優秀賞を受賞されました。

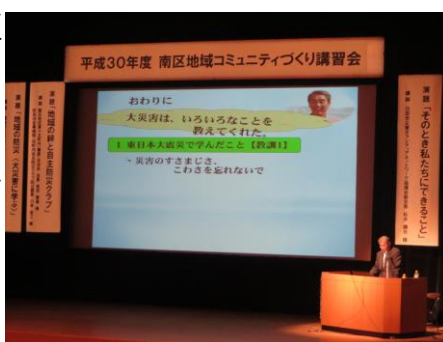
### ◆消防団員募集◆

消防団では団員を募集中です。年齢・性別は不問です。地域のために一緒に活躍してみませんか。詳しくは地区の消防団へ!



## 地域コミュニティづくり講習会

2月6日、アスパル富合で南区地域コミュニティづくり講習会があり、銭塘校区4町内白河部自治会長が「地域の防災(大災害に学ぶ)」と題し、これまで町内で取り組んできた防災のまちづくりについて事例発表をされました。



## 第5回天明かかしコンテスト表彰式

2月6日、天明公民館にて天明南園会主催の第5回かかしコンテストの表彰式がありました。金賞の銭塘小学校をはじめ、銀賞銭塘校区自治協議会、銅賞天明水の会、入選奥古閑小学校・明和学園が表彰を受けられました。

